

# コミュニケーションを支援する

～語用論的指導／無発語からことばで「物語る」まで～

講師：小坂 美鶴氏

と き：2015年03月01日（日）

9時30分受付開始 10時00分～16時00分

ところ：名古屋市中心企業振興会館 第3会議室

（愛知県名古屋市千種区吹上二丁目6番3号／<http://www.nipc.or.jp/fukiage/index.html>）

●参加費：6,000円

●定 員：40名（完全予約制）

\* 完全予約制です！

\* 申込み方法／ホームページから、お申し込みください。申し込み確認の後、郵便振込口座へお振込み下さい。

<郵便振り込み口座>

00840-1-67926

「子どものためのあいちAAC研究所」

\* 受講票をお送りいたします。

\* 受講票を受付でご提示下さい。

\* 住所は正確にお書き下さい。

\* 通信欄に、「セミナー名」「親」「親以外の支援者（できれば、具体的に）」を記載して下さい。

## <講師紹介>

- 小坂 美鶴（こさか みつる）
- 現在／川崎医療福祉大学医療技術学部感覚矯正学科教授、同大学院医療技術学研究科感覚矯正学専攻指導教員
- 博士（感覚矯正学）、言語聴覚士
- 専門／言語障害への語用論的アプローチ、言語障害への認知神経心理学的アプローチ
- 著書：「言語障害への語用論的理解からの介入」（川崎医療福祉学会誌 voi.11）、「右半球損傷による談話障害へのアプローチ」（言語聴覚研究第6巻／医学書院）、「後天性小児失語症の臨床像と教育的配慮の必要性について」（聴能言語学研究 19）、「典型発達児のナラティブのストーリーの構造と内容の発達」（コミュニケーション障害学 30）など多数

主催：子どものためのあいちAAC研究所

連絡先：春日井市弥生町2丁目105-1 子どものためのあいちAAC研究所

代表：中島雅史

Tel/fax 0568-85-4020

<http://www.aichi-aac-center.jp>

今回は、川崎医療福祉大学医療技術学部の小坂美鶴先生（言語聴覚士）をお招きし、会話を支援する言語指導の実際を、特に、談話の発達支援を軸にお話ししていただきます。

談話（ディスコース）というのは、話をする事、会話をする事ですが、そこには首尾一貫性があること。一方向性ではなく双方向性を期待している発話であること、そして単文以上の構造をもつ複数の文章からなる発話であること、このような特徴を持った事象のことを言います。この能力の発達を考えるには、「会話の発達」と「語る（ナラティブ）の発達」という2つの視点からとらえる必要性があります。

子どもたちは、会話のルールを学びます。会話の発達においてとても重要なものです。それは、会話の公理と呼ばれるもので、会話をうまく展開するために必要な要件です。この公理をごく自然に、通常の生活の中で学ぶことができない子どもたちがいます。質問に答えることができても、自分から必要な情報を得るための有効で的確な言葉の使い方、他者から友好的な対応を引き出すための言葉の使い方がわからない子どもがいます。他者の発話に対し、相槌を打つなどのリアクションをしないままボーとしている、相手が話し終わった後も何のリアクションもしない（できない）子どもがいます。一方的なおしゃべりを続ける子どももいます。他者に対し、自分の経験や出来事の解説、やりたいことや予測などを物語るためには、それを可能にする構成要素というものがあります。もちろん、「メタ」という認知機能の発達が深く関係します。

いずれも、言語発達障害のある子どもにとって、たいへんハードルの高い領域ですが、豊かな他者関係を築くには必要な能力です。

では、このような言語能力を学習という場で、日常の学校生活や家庭生活の中で、具体的にどのように教えていったらよいのでしょうか。また、般化を促すための環境をどのように保障したらよいのでしょうか。小坂先生のさまざまな臨床事例を介して、具体的に学びたいと思います。

<スケジュール>

- 9時30分 受付開始
- 10時00分 あいさつ・講師紹介  
午前の講習開始
- 12時00分 おひる休憩
- 13時00分 午後の講習開始
- 15時40分 質疑応答
- 16時00分 セミナー終了
- 16時30分 会場閉鎖

<参考図書>

1. 南 雅彦；「談話構造の発達」、『よくわかる言語発達』（ミネルヴァ書房）
2. 荻野美佐子；「物語ることの発達」、『ことばの発達入門』（大修館書店）

<アクセス>

- 有料駐車場があります。
- 地下鉄桜通線「吹上駅」で下車 すぐ
- JR「鶴舞駅」で下車 徒歩20分余
  - 1階にレストランがあります。
  - 会場での飲食はOKです。
  - ゴミはお持ち帰りください

